

講義名	キャリア基礎論		
科目区分	キャリア		
担当教員	小幡 祐可子		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>受講生は変化する日本の労働市場において、多様化する大学生の進路について学ぶ。その多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていく。就職だけでなく人生全体を考え、自らの夢に向かうために、社会の現実と自己を照らし合わせて自分の目標を明確にし、新たな自分を創り上げていくことを目的とする。</p>			

到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> 日本の労働市場を知ることによって大学生の就職環境について説明することができる。 業界や職種などの違い、働き方（ワークスタイル）を理解し、自分の希望する仕事の絞り込みができる。 社会が求める人材像や能力を知ることによって将来のキャリアに向けて学生時代の目標設定ができ、その習得プロセスを計画して、充実した学生生活を過ごせる。 			

提出課題			
<p>毎回の授業では、授業内容に関してミニレポートを提出 また、課題レポートを提出する。</p>			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
<p>課題（レポートや小テスト等）を提出した次の授業で、全体講評を実施する。また、毎回の授業で提出するミニレポートについては、次の授業の冒頭で、ミニレポートの内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行う。</p>			

評価の基準			
<ul style="list-style-type: none"> 授業態度、毎回の授業に関連してのミニレポートの作成（45点） 課題レポート（宿題）（10点） 社会で求められる基礎能力（筆記試験）の小テスト（10点） 期末レポート（35点） 			

履修にあたっての注意・助言他			
<ul style="list-style-type: none"> この授業はいずれ社会に出て行くための練習の場でもあるため、社会生活を送る上で必要なルールやマナー（時間を守る、私語を慎む等）を守ること。 授業の最後に参考書籍の紹介をするので、それらを読むことが授業内容を理解する上で非常に役立つ。 特に先輩達の就職活動について報道されるニュースについては出来るだけ見るようにするのが望ましい。 提出課題（課題レポートなど）は必ず提出すること。 グループワークには積極的に参加すること。 			

教科書	
. 使用しない。	

プリント資料及び参考文献	
その都度、資料の配布と参考文献を紹介する。	

授業計画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 授業概要説明 2 大学生の進路 3 卒業後の人生設計 4 就職と転職～就業形態について～ 5 働き方研究①～キャリアインタビューを通して働くことの意味を知る～ 6 働き方研究②～キャリアインタビューを通して働くことの意味を知る～ 7 働き方研究③～キャリアインタビューでの学びを深める～ 8 キャリアデザインのための自己理解～自己分析～ 9 キャリアデザインと仕事理解①～職種について理解する～ 10 キャリアデザインと仕事理解②～経済・雇用環境に応じた働き方の理解～ 11 社会人のコミュニケーション 12 社会で求められる基礎能力① 13 社会で求められる基礎能力② 14 就職活動の準備 15 まとめ <p>※受講者の人数や状況に応じて講義内容やスケジュールは変更される可能性がある。</p>	

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	
<input type="radio"/> エ：グループワーク	
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
<p>メディア（インターネット、テレビ、新聞など）で取り上げられる、大学卒業後の進路に関わるニュースを毎日1時間はチェックすること。また、授業内で紹介する参考文献はできるだけ読んでおくこと。 具体的な方法は授業で適宜、紹介する。</p>	

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
<p>授業内では常に4～5人で意見が交わせるように「Open & Share」を繰り返し、教員はファシリテーションを行う。場合によりクリッカー（Respon）を使用し、リアルタイムで全体の意見を共有したり、解説をする。</p>	

実務経験の有無及び活用	
<p>実務経験あり キャリアコンサルタントの国家資格を有し、企業研修、人材育成、大学生の就職支援並びにキャリア教育に携わる。 また、アパレル業、ブライダル業での実務経験の他、フリーアナウンサーとして活動をしている。 その経験を生かして、大学での学びや大学生活（課外活動など）での経験が、どのように社会で役に立つのかを実例を交えて解説を行う。</p>	

備考	